

京城日報

刊夕日一十二

歐洲大戰亂

露國戰場專用飛行機

露國戰場専用飛行機の出現は、露國の飛行機製造能力の向上を示す。この飛行機は、高度が高く、速度が速く、射程が長い。露國は、この飛行機を、戦場の偵察、攻撃、輸送などに活用している。露國の飛行機製造能力の向上は、露國の軍事力の向上を示す。露國は、この飛行機を、戦場の偵察、攻撃、輸送などに活用している。

最後の一滴を瀝ぐまで

露國は、最後の一滴を瀝ぐまで、戦いを続ける。露國は、戦いの最後、最後の一滴を瀝ぐまで、戦いを続ける。露國は、戦いの最後、最後の一滴を瀝ぐまで、戦いを続ける。

英國鋼鐵艦隊を撃沈

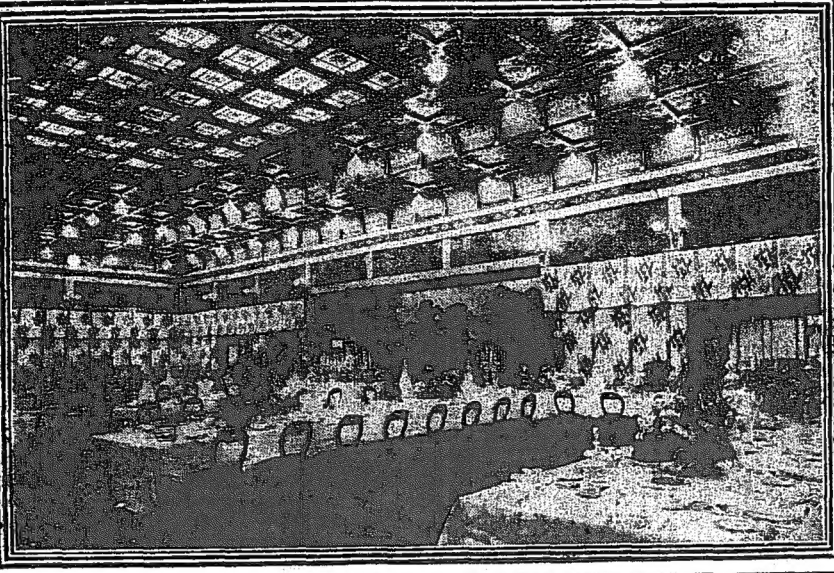
英國鋼鐵艦隊を撃沈した。英國の鋼鐵艦隊は、露國の攻撃を受け、沈没した。英國の鋼鐵艦隊は、露國の攻撃を受け、沈没した。

吉元帥動向

吉元帥の動向が注目されている。吉元帥は、戦場の指揮官として活躍している。吉元帥の動向が注目されている。

東西文明融合の所以

東西文明融合の所以は、互いの文化を理解することにある。東西文明融合の所以は、互いの文化を理解することにある。



大露第二日夜宴場

朝鮮に波及せん

朝鮮に波及する恐れがある。朝鮮に波及する恐れがある。

北南言

北南の言動が注目されている。北南の言動が注目されている。

大露式場拜観

大露式場を拜観した。大露式場を拜観した。

三等汽車二割引

三等汽車の料金が二割引きになった。三等汽車の料金が二割引きになった。

五百萬圓に垂ん

五百萬圓の損失があった。五百萬圓の損失があった。

大日本帝國新領土發展號

大日本帝國新領土發展號の概要。この號は、大日本帝國の新領土の發展を目的として設立された。この號は、大日本帝國の新領土の發展を目的として設立された。

酒清良醇

大府酒造

肥塚源次郎

大府酒造

南星病院

大府酒造

土地家屋賣却

大府酒造

獎忠壇の消防演習



● 神都^{しんと}不夜城^{ふやじやう}と化^{くわ}す

天皇陛下には行在所に入らせらるゝや此網まで御目に馴れさせ給ひしけれど洛の趣とは悉く一體しつる神都の秋光こそなか／＼にみじけれど御饗臨近くまで出でさせられ御苑に近き五十鈴川の清瀬でけ之を隔てゝ神のみす神路山の秋色を飽くなく樹々給ひしやに承はれるが山田市にては暮るゝに早き秋の夕を各在所に灯影の輝き初むるを相圖にさまざまの煙花に供したる煙花百發

趣向を凝らせる煙花一百發を打揚げたり場所は行在所に五十鈴川の邊りの空に柳と露き花と開く變化の面白く折柄上弦の月二見あたりと思ひき空に懸りて徐に心あるものゝ如く御座所の隅に照り陛下には悉く御満足に思召されいたく打興也させ給ひしが露香冷に吹き入るものから待醫より申上げて此夜は特に御目めに御寝遊はされたり行在所附近は御警備のものゝ劍光朝影防めくす案の遺漏なきを期し居れり一方市中は行幸を迎へ奉りて到る所歡聲湧くが如く全街燈籠に彩どられて眞個不夜城のを呈したり(山田發)

●法の華咲く華頂山の秋

京都智恵院の勅額奉安式

京都東山浄土宗總本山智恵院に下賜されたる「明照」の宸翰は、愈々勅額として縫製を終へたるより十九日午前、十時より山下管長以下、百餘名の門下僧侶出席し、莊嚴なる法要裡に、

笙・簫・築の奏樂の音ゆるやかに響き、れば四方清水、箕俣の式ありて、一念禪を唱へ、白羽二重にて描たる勅額は、執事の手により、藪を取除けられ、陳正面に奉安されたり。勅額は、管長

● 勇まじい消防演習

何れ劣らぬ消防隊勇士の腕比べ
 斐忠壇に暖かい小春日和を浴びつゝ
 京政府内消防組の演習は廿一日斐忠
 壇で催された、暖かい小春日和の芝
 生には常備消防隊の勇ま
 しい制服姿から意氣な
 纏に消防服の義勇隊がす
 らりと整列し壯觀言はん方なし折か
 ら潮京鐵道警察部長は各警署署長と
 共に各部隊を點檢し府内常備消防隊
 より京城第一部消防組、龍山第一部
 二部消防組、新龍山、麻浦桃花洞消
 防組を始め消防用器具一切を點檢し
 すれば次に京鐵道警察本部を點檢
 任小龍警部の號令の下に水管局車
 操法のり、次で各常備消防隊の内警
 人義勇隊を三組に分ちて消防囃筒の
 なる盛會を至した
 操法競争始より先づ斐忠壇の松林林
 中なる竹竿の頭に紅提
 灯を吊るしこれを小龍
 警部の號令の下に谷間
 の流れよりホースをPA
 きて射落す仕組なりしが
 掛け遂に麻浦桃花洞なる
 の優勝となり隊人個の喜悅言はん
 なり何れも推譲して萬歳を絶叫し
 しは御慶賜であつた、次いで警察
 長の訓示府尹の演述あつて午後か
 らは前後廿五回の運動會始まり近來

● 訓練院の自轉車大會

秋晴の日曜に素晴らしい賑ひ
朝早くから大勢の日曜に素晴らしい賑ひ
京城市内愛媛家の主催になる自轉車
大會は二十一日の日曜午前九時か
ら光臨門内訓練院で催さる、此日は
特に京城第一流選手として有名なり
し明治道灌漑川鉄船店主島山崎有吉
の引退記念レースなりしが、朝來美し
い優勝旗や萬國旗が翻へる萬歳の
聲援が起る音楽隊の奏樂が聞える、
たゞ山崎君の出たのは第九回の京

自^{みづか}ら咽喉^{いんこう}を刺^さ
刀^{やいば}で搔^{かき}切^きる

温突内の慘劇
山口縣久保郡柳井津町生れ京師直
山口縣久保郡柳井津町生れ京師直
二十七番地佐々木梅吉方同居同人
兄無職高田善藏^五は
▲廿一日午前七時 質屋
温突内に於て先づ洋刺方を以て咽
部を掻切り自殺を企てたるも手ず

目的を達せざりしより次にす
以て兩度同所を刺したるも尙

命するに至らざるを以て三度自
出及庖丁を以て我
が咽喉に斬り込みた
も尚死に切れず苦悶し
異様の陰り聲を家人が聞きつ
染まりて打臥し居るを發見し
るに早く前記の次第と知り其旅

現場に接し本町署より時を移さず出張し緊急手當を加へ

第七、内分に對し、
 弟海吉に引渡し、總督府醫院に
 移し、下加療中なるが、尙ほ創傷は
 軟骨部損傷四處、突深三仙に達
 して、
 ▲軟骨を切斷して、氣
 遣し居るも、手當早かりし爲め、多
 命には別條なかるべしと因みに
 は、佐々木方とは折合なきも、内地

家族の生活困難を苦にし精神に異状

の事業、松寺、檢事、正談、
周圍の罪乎
は強て無理ではあるまい併し、當
も大正元年即ち其の必要を認め、
入保護の機關として、京城救護會
設け、會員組織によりて之に要

の出處を定め現在七百數

の會員を以て二十餘年
の内鮮人出稼者を保護し漸次擴
本年は御大典記念事業
して阿規里に三千餘坪
敷地を購入し來春早々建築に著
の運になつて居る現在以前記の
種保護法なる收容保護を行つて
各道に於て發行せ

此種の保護會が設けられる様
に進んで來た

の が ら げ

▲社會の同情を求む

何とて此處に太く短く筆を盡して行かう
る邊許りの教育之を論じてゐるや、
せよと云ふのだが、普通の人間の教育は
のよりも一層甚しき苦辛を要するものでは
なからざる故に其の方法にしても

●一回で三百圓
づゝ消える

本年一月より十月に至る十箇月間、
城府に於ける火災度數は百三十二
にして内三十六回は内地人九十六
は朝鮮人側なりしが即時消止めた
訓練院の自轉軍大會



●廿一日の晝火事

廿一日午後一時起、百七十七番私立文藝塾小使室より、發火、昌徳宮消防隊、直ちに消止めたり、原因は小兒弄火なり。

郎氏は来る二十二日(月曜日)午後一時より總督府内にて一塲の講話を可く演説はし、里民を招く。

獄人保護と云ふものは一般の社會事業であつて貧民救濟事業に感應實驗に於て種々の現象を現し以て日常各個人間の暗示力を精神作用の如何に偉大なるかを證明する由一般家庭に於ける子の教育上好資料たるべし

性質のものである『小人閑居して

術を爲す」であつて一日でも出獄
 を遊ばして置く云ふのは感化上
 大缺點であるから彼等に職業を興
 自ら勞苦してパンを得ると云ふ様
 しなければならぬと思ふ

▲免囚保護の範圍

刑罰事業に對しては、多分研究し、文藝趣味、格つ

周るが突然のこととして歸まつた。考も出ない
れども最後に一言したいことは、出獄人保護と
へは一度出獄に行つて出て来た者を保護する

云ふのであるが、政治社會の安定秩序を維持するの幸福を圖らうとするには、幸福を以て出でたる者に限らず、幸福を以て出でたる者及び執行官の幸福を以て、政治社會に於て調和放散の感に處したる者を以てして、保護救済して行ふことが、是れはならぬと感ずるが、立憲國家では、此の如くして幸福を以てする者であつて、其幸福を以てする者と九分通り迄朝鮮人へ

ある朝鮮人は寧か不幸か川島人に對する
會の態度も内地人の様に排斥はせず依然と

田舎太夫上野の七、三郎三郎、加賀敷次郎

數學三大義講

青教授の社長を憑其輔現代講座隊中の白眉閣外の注釋各種性質
頭取五百萬圓
安田善三郎

資本金
東京本郡駒込林町東
電話下谷一四九八

珠算代算
本院聘請
受託に候り
實行者様
短冊卒業
說明書切半
大毛費各種
說明書切半
通函應付

庶只今人入會好見不進里
能資金免入會機

光栄を放つ最終別
本町博文館

少年世界

年一二月刊
十八回出版

少女世界

少年の傳説をもつた湖……が川つや子
 國政 空中の救ひ 押川春浪
 手帖の中より 沼田繁榮
 七ツねがひ
 郎二國れお少女 神澤静る少女 沼田繁榮
 編みかけの靴下 せめて一足贈りたい 油川修三
 友だちの對話……は……
 賑かなお香標 かわらの旗(方)(手工) 鈴木正雄
 宮田靜雄

食料品雜貨

京誠本町二丁目
篠崎運動具店

秋期力タ口ク造呈

果實寄物
南大門市場御部

問屋 岩城馨商店

青果食料品
海産物貨品

東京旭町二丁目(電話八四二番)
岩城馨商店
振替口座東京二〇二〇七

●京仁地方の初雪
●慶北各地近況
●沿岸貿易復活
●迎日水利組合
●土地調査委員会
●演藝案内

●慶北各地近況
先月以來、東海沿岸、慶北各地、雪が降り、冬らしい光景が現れ、農作の準備が急がれる。また、各地の物産、特に、栗、胡桃、柿、干柿、など、市場に出回っており、消費者の注意を引いている。

●沿岸貿易復活
朝鮮沿岸貿易の復活が、最近、目覚ましい進歩を遂げ、各地の貿易が盛んになり、沿岸の経済が活気づいている。特に、釜山、大邱、蔚山、など、主要な貿易港では、貿易量が大幅に増加している。

●迎日水利組合
迎日水利組合の組織が、最近、完成し、各地の水利事業が、順調に進んでいる。特に、灌漑事業が、大規模に進められ、農作の増産が期待されている。

●土地調査委員会
土地調査委員会の調査が、最近、完了し、各地の土地状況が、明確になっている。特に、農地調査が、大規模に進められ、農地の増産が期待されている。

●演藝案内
大正五年、各地の演藝活動が、盛んに行われており、観客の注目を集めている。特に、大正五年、各地の演藝活動が、盛んに行われており、観客の注目を集めている。

●平南の在來棉
平南の在來棉の生産が、最近、増加し、各地の市場に出回っている。特に、平南の在來棉の生産が、最近、増加し、各地の市場に出回っている。

●米移出禁止
米移出禁止の措置が、最近、実施され、各地の米の流通が、制限されている。特に、米移出禁止の措置が、最近、実施され、各地の米の流通が、制限されている。

●平南の在來棉
●米移出禁止
●平南の在來棉
●米移出禁止

大正五年 國民日記

我々は日本國民である」と云ふ自覺は我等が無二の光榮であり誇りであり、此光榮と誇りとを毎日自覺して國民としての責任を果たさしめんが爲に「國民日記」と云ふものが出来た。「國民日記」の優美なる體裁は世界に卓越せる我日本の自然の如く堅牢無比なる其製本は天下無敵の大地の如く其充實せる内容が古今東西の智識を網羅して餘蘊なきは恰も日本の文明が世界のあらゆる文化の粹を抜きたるが如し「國民日記」は從來有り觸れた日記のやうなものではありません。眞に國民の爲に作られた國民の日記であり、定價 金四十五錢 郵税 金八錢

大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部

町田野國總下 造釀門衛右郎七木茂 店約特城京 目丁一町治明 店商野牧

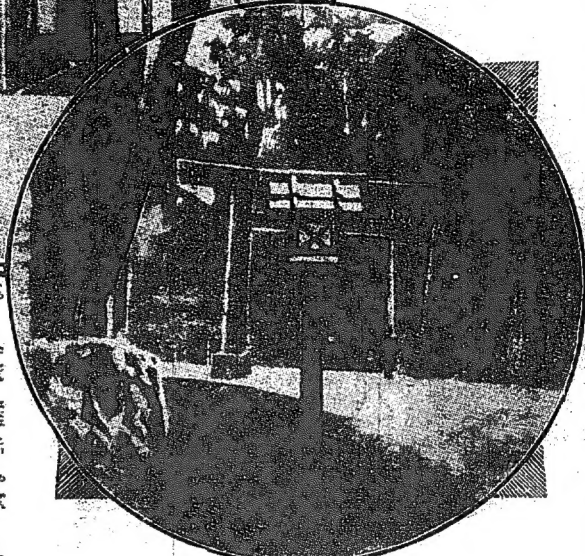
香 油醬 七最

損の中年はる誤を擇撰の油醬 油醬ハキ品絶の唯一東關へ給み試 石千二萬六額年りた冠に國全高造釀 りけ基に力買購の大最は高造釀の大最 證實の越優質品は力買購の大最

(號十五百九千二第)

德富猪一郎恭記

(下)伊勢神宮神苑御手洗所



を拜し、離宮の門を出てたるは、
既に十八日午前一時半に近かりき。
歸來を仰げば、星ノ蘭干、京都市
氏の過半は、未だ眠らざりし也。乃
ち直ちに其の梗概を記して、我が愛
する諸君に認げ、其の光榮を頌つて
云爾。

大正四年十一月十八日午前三時

朝鮮銀行の使命(一)

滿蒙開發と金融機關

日支新條約成立と共に、支那に
し帝國の經濟的勢力を伸張せしむ

國の均しく之を公認する所にし
何ぞ必ずしも過般成立したる日
條約を俟て初めて然りと謂はむ
然らず。是等の地域たる帝國は
力圖に在り、且つ之が開闢は風
國の使命に屬し、邦人の經濟的
も其地に漸次根柢の固きを加
れるを見ることは難く、從來關東
地方及び滿蒙附屬地、其
に反して、我に居住旅行の
農、商工其他の事業を營むに
幾多の障礙を存し、爲めに邦人
の足を阻礙せしこと甚だ夥しとせ

大阪商船株式會社

條件として巨額の資金を要し、從て資金の供給調節の任に當るべき金融機關の整備を此の點に關しては、急務に當る。而して此の問題に關しては、既に朝野の間に、其方法形式は別として、何等かの機關を建設するの急務である事は、全く一致せる意見の樹立に在るを要す。但た是等金融機關の組織如何は最も難題と云はざる所にして、若し其宜しきものを得らざるには、實に國家開發の大目的を達成する能はざるのみならず、或る爲めに却て邦人の經濟的發展を阻礙するの結果を生ずることなきを懼せざる也。

現今の生産

朝鮮の工業(上)

明治四十二年	同	一等賞
明治四十三年	同	今般金通
明治四十四年	同	足值掛同
大正元年	四等賞	銀六十兩
大正二年	三等賞	金六兩
大正三年	二等賞	金六十兩
大正四年	一等賞	金百兩

賣 晶 景 品 方 法 三 地 圖

金側懷中時計當ります

賣出 品名

~~~~~

金 十 百 カ し 金

剛 き ト 圓 圓 圓

壹 菊 八 ス 神

圓 水 煙 シ 代

島

▲賣出期間 自大正四年十一月一日至大正五年一月十五日  
▲抽籤施行日 自大正五年一月二十五日  
▲景品引換期間 自大正五年一月廿五日至同一年二月末日

景品方 法

に達しますれば一枚の抽籤券と御引換を願ます  
今回の賣出は從來の方法に其趣を異にし一ポ  
ール分に達して一枚の抽籤券を得られる故御忘  
れなき様御注意を乞ふ

●金剛二十枚 ●しらぎ二十枚 ●日本兜四十枚  
●百圓二十枚 ●十圓四十枚 ●一圓廿五枚  
●菊水二十枚 ●八島二十枚 ●スワン五十枚  
●神代二十枚 ●鷹二十枚 ●常盤四十枚  
●コンケスト五十枚

| 景品種目 |        | ソールナム會社製 |     |
|------|--------|----------|-----|
| □特等  | 二 本    | 十八金側時計   | 一個  |
| □壹等  | 十七 本   | 額面十五圓債券  | 一枚  |
| □貳等  | 五十 本   | 額面五圓債券   | 一枚  |
| □參等  | 四百 本   | 莫大小シヤツ   | 一枚  |
| □四等  | 七百 本   | 卷煙草      | 入一個 |
| □五等  | 千五百七十本 | 靴        | 下一足 |
| □六等  | 二千四百本  | 西洋手拭     | 一本  |
| □七等  | 三千三百本  | 金剛煙草     | 一包  |
| □八等  | 五千五百本  | しらぎ煙草    | 一包  |

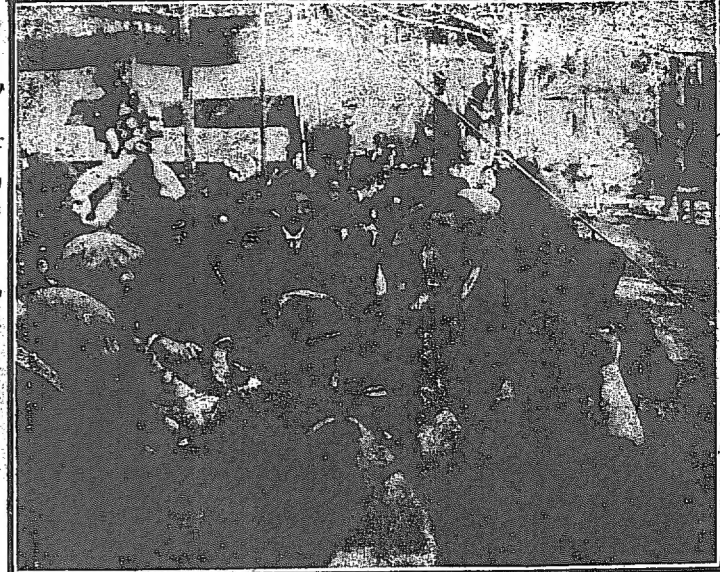
千五百圓の割増金債券が當  
ます付貯蓄

捲煙草製元 京城 廣江商









兎狩り (歸後の大野原に於て)

### 肥後流の大兎狩

林東拓理事 吉田朝野事務の弱音  
新聞には來年の豫想を拜借のこと  
肥後流の大兎狩は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大兎狩は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣の東部は、大野原と呼ばれる廣大な野原で、この大野原に於て、肥後流の大兎狩が行なわれる。肥後流の大兎狩は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 奇抜な、猛烈な競争

見物客から「父さんお勝ちよー」  
肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 観衆一萬

昨日の自轉車競走  
肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 取るのは泥棒、取られるのは泥棒

播磨の空襲、火に注意  
肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 百圓札の利権を寄越せ

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 一千八百戸に温突改造を命ず

火災予防の爲め、温突改造を命ず  
肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。



### 釣銭も添へて持参せ

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。



### 金牌の榮譽

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 不敵の少年講

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 六棒香油の大名譽

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 金持の少年講

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

### 金持の少年講

肥後縣消防組合の大運動會  
肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の東部、大野原に於て、毎年十一月の末から十二月の初めにかけて行なわれる。この大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。肥後縣消防組合の大運動會は、肥後縣の特色の一つで、肥後流の文化を代表するものである。

#### 京日案内

普通 希望者至急御願ひ  
希望者至急御願ひ  
希望者至急御願ひ

#### 愛國毛布

愛國毛布  
愛國毛布  
愛國毛布

#### 恩給年金類立替

恩給年金類立替  
恩給年金類立替  
恩給年金類立替

#### 江州屋

江州屋  
江州屋  
江州屋

#### 宮腰商會

宮腰商會  
宮腰商會  
宮腰商會



